

平成 16 年 12 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 11 月 1 日

会 社 名 株式会社レッグス (コード番号：4 2 8 6 登録銘柄)

(URL <http://www.legs.co.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 内川 淳一郎

問 合 せ 先 責任者役職名 取締役管理グループ グループリーダー

氏 名 平賀 一行

T E L (03) 3408 - 3090

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計
年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 12 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

(1) 売上高 (百万円未満切捨て)

| | 百万円 | % |
|--------------------|-------|---------|
| 16 年 12 月期 第 3 四半期 | 3,551 | (-) |
| 15 年 12 月期 第 3 四半期 | - | (-) |
| (参考) 15 年 12 月期 | 4,628 | (1.0) |

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. 四半期業績開示の開示初年度であるため、前年同四半期の実績及び前年同四半期比増減率の記載は行っておりません。

3. 平成 15 年 12 月期におけるパーセント表示は、前年対比増減率を示しております。

4. 各数値につきましては、監査法人による監査を受けておりません。

〔売上高に関する補足説明〕

当第 3 四半期につきましては、広告業界再編に伴う混乱の中、大手代理店向けで業績の落ち込みが見られたものの、食品・飲料・通信・自動車業界を中心とする販促キャンペーンの増加傾向を背景に、これら業界の顧客企業と当社との直接取引の拡大が、当初の予想を上回る見通しとなりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事項はありません。

3. 平成 16 年 12 月期の連結業績予想（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

第 3 四半期の業績を踏まえ、平成 16 年 2 月 13 日に公表した平成 16 年 12 月期（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）の連結および単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

（1）通期連結業績予想（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）の修正 （単位：百万円）

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------|-------|------|-------|
| 前回発表予想（A） | 5,163 | 101 | 55 |
| 今回修正予想（B） | 5,163 | 170 | 86 |
| 増減額（B - A） | - | 69 | 31 |
| 増減率（％）（（B - A）/ A） | - | 68.3 | 56.4 |
| （ご参考）前期実績（平成15年12月期） | 4,628 | 96 | 15 |

〔修正理由〕

平成 16 年 12 月期の通期業績予想については、商品企画事業およびマーケティング事業における顧客セグメンテーションと新サービス提供等によるサービスの高付加価値化により、食品・飲料業界を中心とする大型顧客の獲得に成功致しました。これにより、顧客企業との直接取引が拡大し、代理店市場での落ち込み分をカバーしたため、連結での業績予想が当初の見込みを大幅に上回り、前回予想数値を上方修正致しました。

（2）通期単体業績予想（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）の修正 （単位：百万円）

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想（A） | 3,710 | 58 | 33 |
| 今回修正予想（B） | 3,710 | 134 | 68 |
| 増減額（B - A） | - | 76 | 35 |
| 増減率（％）（（B - A）/ A） | - | 131.0 | 106.1 |
| （ご参考）前期実績（平成15年12月期） | 3,588 | 73 | 2 |

〔修正理由〕

平成 16 年 12 月期の通期業績予想の修正につきましては、商品企画事業での顧客セグメンテーションと新サービス提供等によるサービスの高付加価値化により、飲料業界を中心とする大型顧客の獲得に成功致しました。これにより、顧客企業との直接取引が拡大し、代理店市場での落ち込み分をカバーしたため、単体での業績予想が当初の見込みを大幅に上回り、前回予想数値を上方修正致しました。

上記に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上